

「さあ！新学期スタート！新しい出会いに感謝！」

生徒指導通心
第1号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和4年4月15日発行

新しい生活がスタート！さあ、あなたの目標は！

一年生が入学し、学校全体の雰囲気も一段と明るくなりました。さて、みなさんの新学期の滑り出しはいかがでしょうか？毎年、春になると様々な場所の桜がみなさんの目を楽しませてくれます。

ところで桜の花言葉をご存じですか？日本では桜の花の華やかさと散りゆく潔さは、『優美』や『精神の美』という花言葉で表すそうです。しかし国が変わってフランスでは、桜のはかなさやせつなさから『Ne m'oubliez pas(私を忘れないで)』という花言葉で表すそうです。別れを選んだ恋人のせつない心を表して生まれたとも言われるこの花言葉。フランスらしいロマンチックな花言葉ですよ。桜が日本人の心の中にあるのは、新しい生活が始まる入学のシーンや卒業という旅立ちのシーンの象徴的な存在だからかもしれません。

さて新学期が始まり、生徒指導部では通心「縁(えん)」を今年度も定期的に発行することになりました。「通心？通信では？」と思った人もいたでしょう。「心が通じ合う、心通う」通信を目指し頑張りたいと思います。そして、タイトルは・・・「縁(えん)」です。一昨年度は「歩一歩」、昨年度は「凡事徹底」。なぜ、このタイトルにしたのかは、これから語りますね。

最後になりますが、この通信では、日常の学校生活の中で気づいたことや心温まるエピソード、世の中暗い話が多い中、できるだけ面白く、楽しい話を載せていきたい・・・と思っています。この通心を読めば、心があたたかく、やさしい気持ちになってくれることを願って・・・。



「結縁(けつえん)・尊縁(そんえん)・随縁(ずいえん)」

さて、今年の通心タイトル「縁(えん)」について。3月末に、この言葉に出会いました。ご退職された柿木前校長先生が、最後の挨拶で使われた言葉でした。調べてみると...

「縁(えん)」とは...

そのようになる巡り合わせ。関係を作るきっかけ。人と人とのかかわりあい。

「結縁(けつえん)、尊縁(そんえん)、随縁(ずいえん)」とは...

- ・ ご縁を大切にし(尊縁)、逆らうことなく、自然に従って(随縁)いけば、おのずから結ばれていく(結縁)と。人生とは、人と人のご縁の連続であり、だからこそ人との出会いを大切にしなければならない。 <中曽根康弘元首相>
- ・ 「結縁、尊縁、随縁」とは、一期一会(いちごいちえ)と同じ意味である。つまり、人生と言うものは「縁」である。縁を結び、縁を尊(とうと)び、縁に随(したが)うという意味だ。 <野村克也元監督>

どうですか。「縁」とは、本当に深い意味がありますね。この4月。縁あって、新しいクラスの友達と出会うことができました。縁あって、妻ヶ丘中学校に入学しました。「縁あって...」ですね。

何かの縁あって、出会った641人。これからどんなドラマが待っているのか。さあ、令和4年度、スタートです！

出会いで人生は広がり、別れで人生は深まる！

一年生が加わり、全校生徒641名で令和4年度がスタートしました。この3月、4月もコロナの影響を受け、制限の中で卒業式や入学式が行われました。しかし、時間は待ってくれず、別れと出会いが交錯する季節が訪れましたが、きっと皆さんの心の中には様々な出来事が記憶に残っているでしょう。

「出会いで人生は広がり、別れで人生は深まる！」

これから始まる新学期、新しい学級を大切にし、笑顔あふれる学校生活になるといいですね。皆さんが充実した一年になりますように...



感染症対策を万全に！不要不急の外出は控えよう！